

# 明石

掲載写真の焼き増し、記事・紙面のコピーは読者サポートセンターで受け付けています(有料)

## ■明石総局

〒673-0882  
明石市相生町2-10-24  
TEL:078-912-4343  
FAX:078-913-2833  
e-mail:akashi@kobe-np.co.jp

## ■本社社会部

〒650-8571  
神戸市中央区東川崎町1-5-7  
TEL:078-362-7040  
FAX:078-360-5501  
e-mail:shakaibu@kobe-np.co.jp

読者サポートセンター(月~土)  
TEL:078-362-7056 (10:00~17:30)

大使 大塚 高志  
さかな 明石

## 「お魚教室」でデビュー

# 豊富な知識を披露

「明石大使」に就く「魚教室」が9日、市生涯学習センター(東仲ノ町)イベントとなる「お」で開かれた。さかなクン



生きた明石タコを持ち上げて、タコの生態などを解説するさかなクン(右) 東仲ノ町

は独特の語り口と元気いっばいのシエスチャーで魚に関する豊富な知識を披露し、子どもたちを「さかなクンワールド」に引き込んだ。

(27面参照)

さかなクンはその場で描いたタコの種類を当ててもらおうクイズなどを通じ、「タコちゃんの頭のように見える部分は実はおなかで、タコのハチマキは腹巻きだったんですね」などと解説した。

教室の締めくくりで、さかなクンは「このまま海を汚して、たくさん魚を捕り続けていると、2048年には魚が食べられなくなっちゃうま

す」と話し、生態系を崩さないせつけんの使用や、食べ物に感謝しながら食事することなどを呼び掛けた。

高丘西小2年の辻本俊介君(7)は「すごく楽しかった。また来てほしい」と大喜び。大使就任に「明石のために頑張つて」とエールを送った。神戸市

兵庫区の小村一恵さん(12)は「さかなクンを生で見られて良かったし、すごく勉強になった」と話した。(森本尚樹)